

技術をどう生かす？ いちごの周年栽培

(日本共産党西条市議団)

問

MH冷水製造システムを使ったいちごの周年栽培は、食品加工流通コンビナート構想との関係で、どのような位置付けなのか。また、一般の農家は、この技術の恩恵を受けることができるのか。

答

MH冷水製造システムは、地域資源を生かした技術をきっかけに農業・工業・



いちごの周年栽培実験

注・MHとは水素吸蔵合金 (Metal Hydride) の略

商業が融合した6次産業化を図る「食品加工流通コンビナート構想」の核となる技術として位置付けており、現在、このシステムを利用したいちごの周年栽培の技術確立に向けた取組を行うほか、現状の収穫時期より早期に収穫できる苗の開発も行っている。

これらが実現されれば、農家の取得向上にもつながるものと考えており、今後、実用化実証研究の中で農家が取組やすいシステムの検討を進めていきたい。また、MH冷水製造システムは、いちご以外の作物栽培への応用も可能であると考えており、いちご農家という限定なとらえ方ではなく、一次産業全般の今後の目指すべき方向性を見すえた中で必要な取組であると認識している。

どう取り組む？

市独自の学力向上策

(無党派)

問

文部科学省の「全国学力・学習状況調査」は、実施効果の面などで疑問視する声もあるが、本市では、今後引き



授業に集中する子どもたち

続いてこの調査を実施していくのか。

また、全国的に学力の低下が認められている事実があるが、このような状況の中で、市独自の学力向上策を考え、推進していくことが不可欠であると思うかどうか。

答

平成22年度全国学力・学習状況調査は、市内の小中学校で実施した。本調査の結果は、児童・生徒の学力の状況だけでなく、学習状況と学力との相関関係もデータとして得ることができ、学習状況面での課題を明確にするのに有用であると考えている。次年度以降の実施については、当該年度の調査結果の検証と併せて検討していきたい。

いきたい。

また、全国的な学力低下傾向に対する市独自の学力向上策については、現在、全国学力・学習状況調査などの結果を基に自校の課題を明らかにし、重点改善に資する指導内容や目標を設定し、その実践・評価を行い、さらに見直しを図るというサイクルで取り組んでいる。

さらに、教科などの研修会や授業改善を担う主任職研修を充実することで、指導力の向上をよりいっそう図っていきたい。

愛媛県後期高齢者医療 広域連合議員の選挙

欠員となっていた、愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が行われ、副市長の

藤田 義規氏

が当選されました。

人権擁護委員 候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、

桑村 啓子氏

秋山 節子氏

の両氏の推薦に異議ないものとなりました。

請願

6月定例会における請願の審議状況は次のとおりです。

【継続審査】

- ・労働者派遣法の早期抜本改正のため、意見書の提出を求める請願
- ・食の安全・安心と食料自給率向上、農業の再生を求める請願
- ・最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める請願
- ・子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額公費助成等を求める請願

請願とは

市民の皆さんが、国や地方公共団体に対して、それらが所管する事項に関し、一定の措置を取ることや、取り消しをすることなどを希望し、申し出ることをいいます。

請願書を提出したい場合は、議会事務局までお申し出てください。